

4月19日(土)
4月25日(金)

150団体参加！利用者会議開催



長野市ふれあい福祉センターを利用するボランティア団体の「利用者会議」に初めて参加しました。

センターの利用方法や、ボランティアセクター事業についての説明、また20周年記念講演として「長野市ふれあい福祉センターが

できるまで」と題したセンターの歴史、そして、グループに分かれての話し合いなど、盛りだくさんの2時間でした。

その中で感じたのは、センターをこれまで作り上げてきた人たちの「思い」、そして、センターを拠点としてボランティア活動をしている人たちの「強い思い」です。センターは今年20周年を迎えるそうです。20年前に生まれた「ボランティア活動の拠点を作りたい」という

「強い思い」が受け継がれているから、今のセンターあるのだと思います。

「強い思い」は行動を作ります。きつとその行動の中には、たくさんの失敗や遠回りも

ふれあい福祉センター開設20周年！



過去～現在～未来を語る！

になりました。

そして、このように安心してボランティア活動が続けられる環境が整っていて、こうした利用者会議などで各団体とのつながりもできます。この恵まれた環境の中で、自分は何ができるのか、何をすべきなのか、その目的は何かというのを考えたいと、改めて思いました。

私も「思い」を持つてボランティア活動を始めました。そして、それぞれの活動をしている人たちにもそれぞれ「思い」があることを感じる事ができました。そんな「思い」をお互いに話したり聞いたりしてみたい、そして、それぞれの「思い」を集結することができれば、何かを変えていける大きな力になるんじゃないかな...と思います。とても有意義な時間でした。
(Mam, s Pla ce なごみ 下平郁子)

利用者会議参加者の声

この場所が
あってよかった！

- 拠点があるという事は活動しやすい。 ● 会議室を無料で使える。
- 年齢幅広く活動ができる場！
- 土日・夜もやっていること。 ● 子どもたちが地域で育つ場になっている。
- コーディネーターがいることで、ボランティア活動の目的をはっきりさせて活動できる。 ● ボランティア活動のバックアツがあつてよかった。 ● ボランティアの総受付となつているのでよかった！ ● 講座は利用者もスタッフも育つ！ ● 広報のやり方など知識や方法を相談し、教えていただくことができました！ ● 気軽に入れる。

● 活動の打ち合わせが気軽にでき、実践につなげることができた。 ● いつも人が集まつていて元気をもらえます。 ● 情報の収集や交換の場として欠かせない。 ● 活動を知ってもらうことができる。 ● 人と出会える・つながれる。

未来へ向けた
メッセージや 希望

- 集まれる場となる。 ● ボランティア同士の横のつながりができた。 ● ボランティア活動している人やしたいと思つているたくさんの人に出会えた。 ● 1階のテーブルが使いやすい。 ● 和室は子連れで来やすい。 ● ちよつとした飲食もできるのがいい。 ● 喫茶コーナーがおいしい！ ● パンもおいしい。 ● コピーや印刷が安くでき、機材が借りられるのありがたい。
- 空中庭園を！子どもたちが水遊び、雪遊びを安全にできる。 ● 子どもから老人まで集まる場所になればと思います。 ● ボランティアのフェイスブックのような場にする。 ● こんなセンターが南の地区にもほしい。 ● 自分のグループの発表の場があるといい。 ● グループとしても個人としても、他グループと交流していきたい。